

科目名	建築・インテリア設計実習 1						年度	2025	
英語科目名	Architectural & Interior design Practice 1						学期	前期	
学科・学年	建築設計科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	縄田美佐子 他		教員の 実務経験		有	実務経験の 職種		建築設計	

【科目の目的】

- ・プランニングの仕方を理解し、展開図やパースを書くことができる
- ・カラーや素材を厳選し、コンセプトに沿った考えで計画することができる
- ・家具や照明、調度品を厳選し、コンセプトに沿った考えで計画することができる
- ・プレゼンテーションを通して、インテリアコーディネートを理解できる

【科目の概要】

プランニングの基礎である家具などのレイアウトを学び、インテリアデザインに欠かすことの出来ないカラーコーディネート、マテリアルコーディネートの基礎を学ぶ。

【到達目標】

- プランニングの基礎を理解し計画できる
- カラーコーディネート、マテリアルコーディネートの考え方を理解している
- 家具や照明などのコーディネートの考え方を理解できる
- 提案内容に合わせたプレゼンテーションで表現できる

【授業の注意点】

評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。
学生による自己評価及び相互評価も実施し、SNSツールでの情報共有の頻度も評価に勘案する。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	寸法などを理解し快適な計画ができる		寸法などを理解し基本的な計画ができる		寸法などを理解し計画することができない
到達目標 B	カラー・マテリアルを理解し的確なコーディネートすることができる		カラー・マテリアルを理解してはいるが、一部間違いがある		カラー・マテリアルを理解しておらずコーディネートすることができない
到達目標 C	家具や照明などを理解し的確なコーディネートすることができる		家具や照明などを理解してはいるが、一部間違いがある		家具や照明などを理解しておらずコーディネートすることができない
到達目標 D	的確にプレゼンテーションを表現ができる		一部ミスはあるが、プレゼンテーションを表現できる		提案に沿った計画でプレゼンテーションを表現できない
到達目標 E					

【教科書】

なし

【参考資料】

配布資料

【成績の評価方法・評価基準】

成果品等で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		建築・インテリア設計実習 1			年度	2025
英語表記		Architectural & Interior design Practice 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	課題発表・概要説明	題の趣旨・内容を理解	1 課題概要	課題の趣旨や目的を理解している	2	
			2 授業方法	他科目との関連や授業実施方法を理解している		
			3 スケジュール	授業の進み具合やスケジュールを理解している		
2	プランニングの製作	基本プランニングの理解	1 プランの完成	基本的なプランニングを理解している	2	
3	プランニングの製作	基本プランニングの理解	1 プランの完成	基本的なプランニングを理解している	2	
4	カラースキームの製作	カラー・素材の選択を理解	1 カラースキームの完成	カラー・素材の選択の仕方を理解している	2	
5	カラースキームの製作	カラー・素材の選択を理解	1 カラースキームの完成	カラー・素材の選択の仕方を理解している	2	
6	家具の選定	家具の選定を理解	1 家具の選定	家具の選定の仕方を理解している	2	
7	照明の計画	照明の計画を理解	1 照明計画の作成	照明の計画の仕方を理解している	2	
8	照明器具の選定	照明器具の選定を理解	1 照明器具の選定	照明器具の選定の仕方を理解している	2	
9	展開図の作成	展開図の書き方の理解	1 展開図の作成	展開図の書き方を理解している	2	
10	展開図の作成	展開図の書き方の理解	1 展開図の完成	展開図の書き方を理解している	2	
11	パースの作成	パースの書き方を理解	1 パースの作成	パースの書き方を理解している	2	
			1 パースの完成	パースの書き方を理解している		

12	パースの作成	パースの書き方を理解				2
13	プレゼンテーションボードの作成	プレゼンテーションボードの作成の仕方を理解	1	プレゼンテーションボードの作成	家具のスケールなど模型の制作を理解している	2
14	プレゼンテーションボードの作成	プレゼンテーションボードの作成の仕方を理解	1	プレゼンテーションボードの作成	家具のスケールなど模型の制作を理解している	2
15	第二課題 最終提出・講評会	計画案を完成させ、プレゼンシートを提出することができる	1	提出物の完成	求められている提出物を過不足なく提出している	2
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						